2024 年 9 月 30 日

フィリップ証券
A member of PhillipCapital
フィリップ証券株式会社

ニューロマジック（251A）

エクスペリエンス（体験）デザイン事業を展開。様々なデザイン領域を組み合わせて顧客の課題を解決

TOKYO PRO Market | 専門職サービス | 会社紹介

BLOOMBERG 251A:JP | REUTERS 251A.T

- エクスペリエンス（体験）デザイン事業の単一セグメント。5つのデザイン領域を定義し、最適な組み合わせにより顧客の課題解決を目指す。
- 顧客の課題に対する統合的なアプローチにより、どのような業種・業態の顧客に対しても柔軟な対応および継続的ソリューション提供が可能。
- 環境問題先進国であるオランダ子会社を通じて持続可能な未来への変革デザインを追求。デザインの高付加価値化と業績への貢献に繋がろう。

同社の事業について

同社は「エクスペリエンス（体験）デザイン事業」の単一セグメントを展開。顧客における課題解決型デザインとして、WEBデザインやWEBインテグレーションが売上の大半を占める。同事業では、①サービスデザイン、②プロダクトデザイン、③ブランドデザイン、④コミュニケーションデザイン、⑤デザイン for サステイナビリティ　の5つのデザイン領域が定義され、顧客の課題に応じてこれらのアプローチを組み合わせている。同社事業の特徴・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、顧客の課題に対する統合的なアプローチの優位性である。単なるWEBデザインやWEBインテグレーションにとどまらず、組織とビジネス、製品、ブランドほか顧客企業の経営全般に跨るデザイン領域のサービスを統合的に提供している。顧客の本質的な分析・理解を基盤とすることで、顧客からの信頼を得て課題に対してスポット的な対応だけでなく継続的なソリューションを提供することが可能となる。

第2に、どのような業種・業態の顧客も対応できる柔軟性である。長年にわたるWEBデザインやWEBインテグレーションのノウハウの蓄積を基に、同社が定義する5つのデザイン領域のアプローチを最適に組み合わせることで顧客ニーズにマッチしたソリューションを提供できる。対応できる顧客の制約が限られる営業面での強みに加え、一貫したアプローチによることから顧客によって利益率の差も生じにくいと考えられる。

第3に、海外展開による先進的デザイン手法導入の優位性である。同社は2017年以降、海外企業との提携に伴うサービスデザイン事業開始に始まり、環境問題の先進国であるオランダで子会社を設立して持続可能な未来への変革に関するデザインを追求してきた。積極的な海外展開がサービスの高付加価値化に繋がり、今後の業績への貢献も期待されよう。

業績と見通し

2024/2通期実績は、売上高が前期比12.7%減の13.21億円、営業利益が前期33百万円から▲2百万円へ赤字転落。業務内製化を進めたことで粗利益率が同2.7ﾎﾟｲﾝﾄ上昇の20.0%へ改善したものの、一部業態の業務に関しイレギュラーな商流に起因する発注減少の一時的要因の影響を受けた。

2025/2通期会社計画は、売上高が前期比9.2%増の14.42億円、営業利益が40百万円へ黒字転換。前期の一時的要因が解消することに加え、引き続き業務内製化によるコスト削減を進める方針である。

業績推移

事業年度	2022/2（6カ月変則）	2023/2	2024/2	2025/2F
売上高（百万円）	731	1,514	1,321	1,442
経常利益（百万円）	25	31	14	27
当期利益（百万円）	-59	20	-14	8
EPS（円）	-75.66	25.49	-19.00	9.78
PER（倍）	-	10.04	-	26.18
BPS（円）	237.73	268.84	255.24	-
PBR（倍）	1.08	0.95	1.00	-
配当（円）	1.34	3.60	0.00	-
配当利回り（%）	0.52	1.41	0.00	-

（※）2024/6/1付で普通株式1株を500株とする株式分割を実施。2022/2期期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、配当を計算している。（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F＝会社予想）

配当予想（円）	-	（会社予想）
株価（円）	256	2024/9/30（終値）

会社概要

1994年9月に東京都港区で創業。同社グループは「あらゆるエクスペリエンス（体験）において、もっともふさわしい解決を追求すること」をミッションに掲げ、価値観を共有する多様な人がパートナーシップを組み、会社・個人の垣根を越えて共存共栄する「都市」を目指すことをビジョンとする。2017年6月にサービスデザインなどへの注力を目的としてオランダ子会社を擁する。

2024年9月30日にTOKYO PRO Marketに新規上場した。

顧客が製品やサービスを利用する家庭や感じる価値をデザインする行為を「エクスペリエンス（体験）デザイン」と呼び、同社はエクスペリエンスデザイン事業を展開する。

同事業は、WEBサイトの構築や運営、サービスデザイン、UX（ユーザー体験）やUI（ユーザーインターフェイス）に関する企画や開発を主な内容とする。

同社は同事業に関して以下の5つのデザイン領域を定義し、顧客の課題に応じてこれらを組み合わせて、顧客に対して「ふさわしい体験」を提供することを価値としている。

①良い顧客体験を実現するための組織とビジネスに係る「サービスデザイン」
②顧客のコア体験を中心に収益貢献するプロダクトに係る「プロダクトデザイン」
③自分たちの在り方と他社との違いを体験起点で継続的にデザインする「ブランドデザイン」
④サービスやブランドを最適な体験にする「届け方」に係る「コミュニケーションデザイン」
⑤持続可能な未来への変革に係る「デザイン for サステイナビリティ」

企業データ

主要株主（2024/8/26）	（%）
1.黒井　基晴	79.86
2.木村　隆二	10.31
3.山崎　里仁	5.95

（出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部
笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：　公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平 14.1.25」に基づく告知事項＞
1．本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2．当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第 102 条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第 135 条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。